

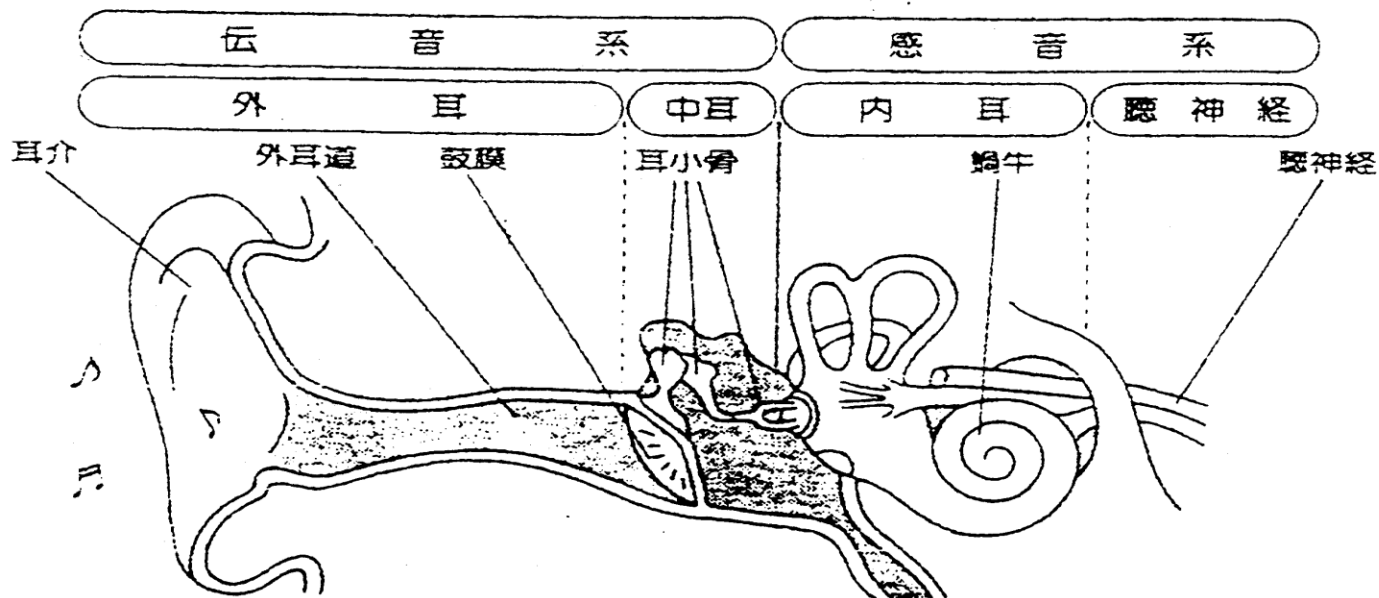
まこえの障害について

和歌山県立和歌山ろう学校
教育支援部

聴覚障害

- 聞こえにくいということ
 - 緊急時への対応が困難
 - コミュニケーション障害
 - 生活の中の音情報不足
 - 情緒的な情報不足
- みえない障害

きこえについて



難聴の要因と考えられるもの

☆伝音性難聴

耳あか 外耳道閉鎖 耳小骨機能低下 中耳炎 など
外耳から中耳に要因←治療の対象

☆感音性難聴

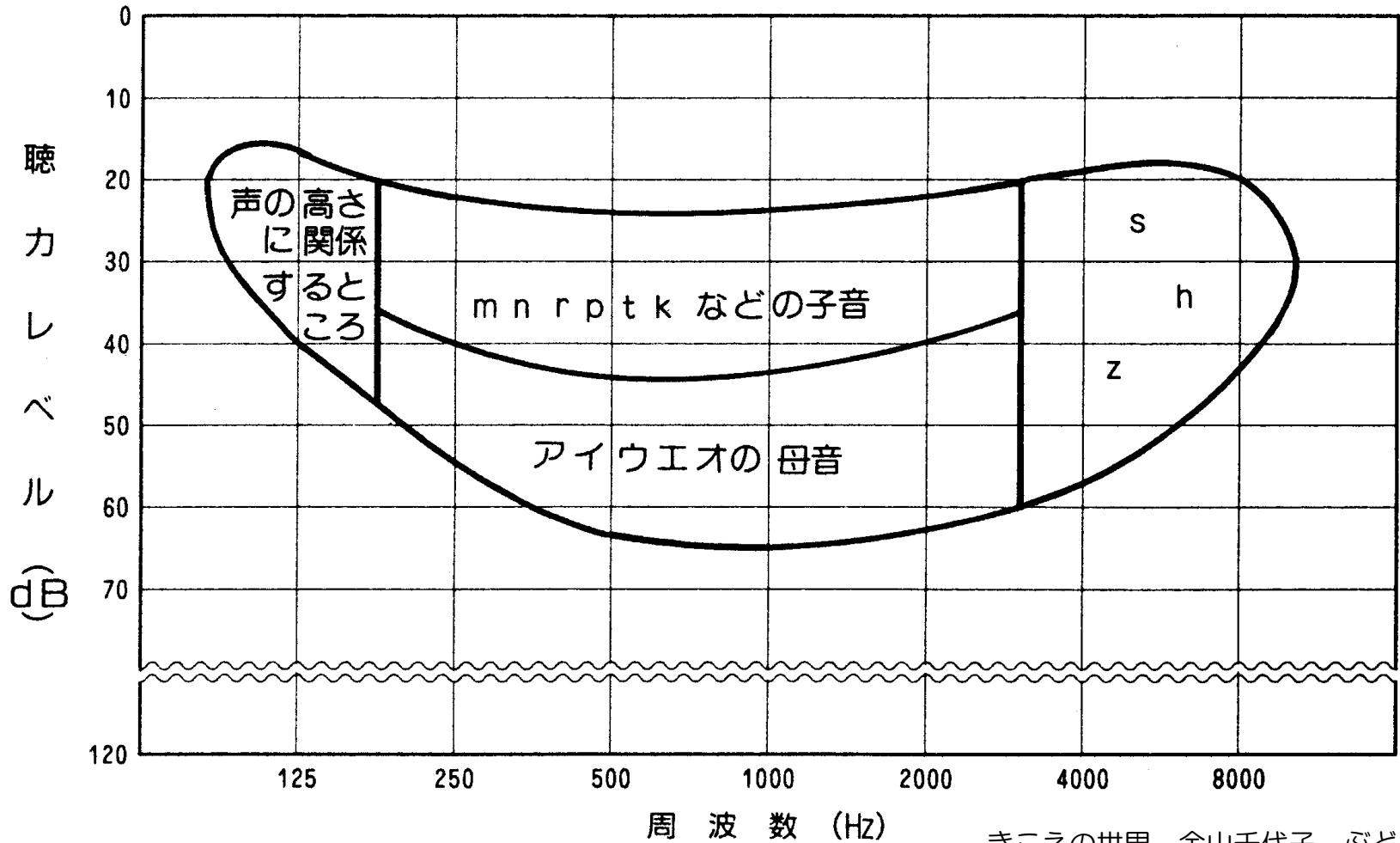
内耳から聴神経等に要因

- ・ 遺伝性難聴
 - ・ 胎生期
 - ・ 周産期
 - ・ 生後
- ※風疹 サトウがウイルス感染症 染色体異常 重症黄疸
音響外傷 耳下腺炎 はしか 薬剤 事故などなど

きこえの程度

難聴の程度	平均聴力レベル	聞き取りの不自由度
正 常	25dB未満	普通の会話は問題ない 声が小さいと聞き取れないことがある
軽度難聴	25～50dB未満	声が小さいと聞き取れないことが多い テレビの音を大きくする
中等度難聴	50～70dB未満	ふつうの会話が聞きづらい 自動車が近づいて初めて音に気づく
高度難聴	70～90dB未満	大きな声でも聞きづらい 商店街などの大きな騒音しか聞こえない
重度難聴	90dB以上	耳元での大声も聞きづらい 日常音はほとんど聞こえない

オーディオグラムとは



一側性難聴

- 片耳が正常な場合は「言語発達」に遅れはないと言われている。
- 両親の心理的なショックは同じ
- 聞こえているから理解されにくい
- 方向感
- ざわめきの中の会話
- 障害受容（本人にはわかりにくい）

軽・中等度難聴

- ある程度の会話やコミュニケーションが可能
- 補聴器装用をしないケースもある
- 周囲からの理解を得にくい
- いろいろなコミュニケーション
- 慣れない場面では
- 学習場面での困難さ（環境調整必要）

補聴のてだて

- 静かな環境にする
- 音源に近づく
- 音を大きくする
- 補聴機器を使用する

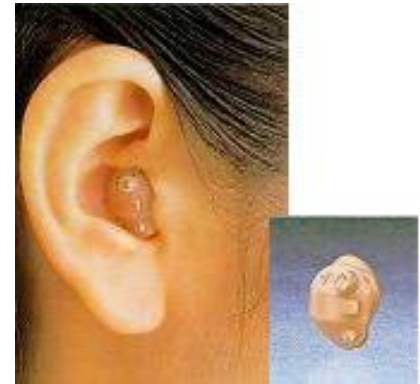
補聴器機のいろいろ



FM補聴器



耳かけ形補聴器



耳穴型補聴器



人工内耳



ESPririt



SPrint

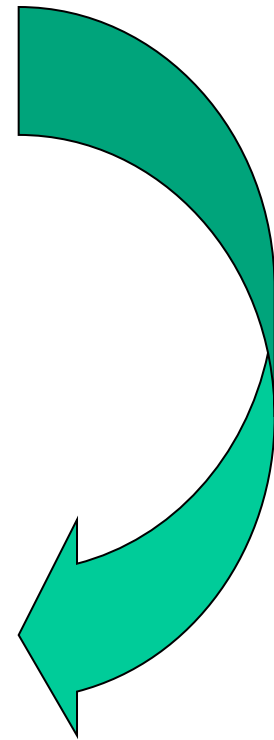


骨導補聴器

聞こえと聴こえ

- 検出（音の有無がわかる）
- 弁別（音の違いがわかる）
- 識別（何の音か認識する）
- 理解（音から意味内容を知る）

音は脳で聞く



コミュニケーションのために

- 補聴器や人工内耳
- 手話（サイン）
- 筆談
- 読話
- 空書き
- その他

日常生活では

- 手話通訳
- 要約筆記
- ノートテイカー
- 補聴システム
- 電光掲示板
- 聴導犬
など

学校・施設支援として

- 子どもの様子の観察
- 保育環境について
- 学習環境について
- ことばかけや配慮について
- 指導内容や教材について
- 難聴についての学習会の開催
- 就学・進学についての相談

引用・参考文献

- ・ 健診とことばの相談 中川信子 ぶどう社
- ・ 聴覚活用の実際 田中美郷、廣田栄子 聴覚障害教育福祉協会
- ・ 聴覚障害児の教育 日本聴覚障害児教育研究会モノグラフ
- ・ 音遊びの聴覚学習 徳島県立聾学校編 学苑社
- ・ ベビーサイン リング・アクルド たきざわあき訳 径書房
- ・ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床 聴覚障害 協同医書出版
- ・ きこえの世界へ 金山千代子 今井秀雄 ぶどう社
- ・ こどもの難聴 医学編 岡本途也 トライアングル